



ぐるっとマップ

No.265 戦争の記憶

保存版

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

今回のぐるっとマップは、戦後75年の節目に合わせて大町～池田に残る戦争の記憶を紹介します。時が経つにつれ、当時のことを知る事が難しくなっています。このほかにご存知のことがありましたら、是非お寄せください。



1. 学童集団疎開

米空軍の本土空襲が激しくなってきた昭和19年夏から、国の方針で学童疎開が始まり、大町・北安曇も縁故疎開や集団疎開の受け入れ地となりました。東京都世田谷区にある四小学校(当時国民学校)約500人の学童たちは、昭和19年8月から昭和20年11月まで、木崎湖畔の9つの旅館に分宿し、平国民学校に通いながら集団生活を続けました。この集団疎開をしていた人々は、戦後40年の節目に「木崎会」として木崎に集い、記念碑や記念樹、疎開の記録誌を残しています。

2. 防空監視哨跡

敵味方の航空機の動向を地上から確認し、敵機来襲をいち早く関係機関に通報するために昭和15年頃設けられました。地元の若者たちが班を作り、元軍人を班長に24時間体制交代勤務で監視にあたっていたそうです。



3. 朝鮮人労働者の帰国の碑

～日本の友よ山河はさよなら さくらの花よ永遠に咲け～



大正年間に始まる高瀬川なりびに長畑の水力発電所工事には、それぞれ数百名の朝鮮人労働者が従事していました。太平洋戦争が激化を増すと政府は軍需産業の人手不足を補うために植民地であった朝鮮から半強制的に人を集め、昭和18年には昭和電工大町工場でも100人ほどの朝鮮人が働くようになりました。

戦後の昭和35年、大北に居住していた朝鮮人600人が母国へ帰国するにあたり、大町公園に碑と100本の桜の木を残しました。

4. 呉羽紡績大町工場跡

戦前の大町を支えた紡績工場ですが、戦争末期になると労働力の不足が目立ち、大町小学校高専科の女子や大町高等女学校の生徒が学徒動員されて落下傘や軍服になる存を織ったといひます。

◎ 淡煙 ～涙も瞳にうつる淡煙 友の屍は燃えつきにけり～

太平洋戦争で最も過酷といわれたニューギニア戦線とヒルメ戦線に赴任した大町市出身の軍医、小野彰。多彩な彼は、最前線で七くなる戦友と共に、緻密なデッサンと短歌を書き続け、戦後画集・短歌集『淡煙』として出版した。また、残された手記・絵・短歌を基に、2018年11月、SBCスペシャル「淡煙～太平洋戦争ある軍医の記録～」が放映されました。

※文中の人数等は、大町市史のデータを引用しています。



◎ 北安曇郷開拓団と、満蒙開拓青少年義勇軍

農村恐慌が特に深刻だった長野県では、満州移民が奨励され、全国197,000人の開拓団の15%にあたる30,000人を送り出しました。大北地域からも55人、そのうち北安曇郷開拓団として231人が入植し、また、14～15歳の少年達271人が、満蒙開拓青少年義勇軍として大陸に渡りましたが、敗戦による苦難の逃れで多くが七くなり、無事帰還した人は半以下でした。

5. 昭和電工大町工場

戦時中は軍需工場として拡充を続け、アベニウムは重要物資として昭和10年から18年の9年間で3.8倍にも増産されました。しかし戦局の悪化とともに原料・労働力・資材不足などが目立ち、生産量は激しく落ち込みます。このような中、戦争末期には大町中学校の生徒たちが大規模に勤労動員され、肉体的労働も担いました。

6. 発見された兵事資料

敗戦後、大本営が直ちに命じた「兵事資料」の焼却処分。ところが平成19年、大町市社の民家より、残された兵事資料200点余りが発見されました。この発見に関する資料を基に、そこで名前が確認された従軍経験者や遺族の方の証言を集め地元出身の吉丸昌昭さんのプロデュースにより平成23年ドキュメンタリー映画「大本営最後の指令～残された軍事機密資料が語るもの～」が制作されました。

7. 常盤供養塔

常盤村出身の戦没者慰霊のために建てられた碑で、脇には戦没者名が刻まれた石碑も建てられています。大北地域からの従軍者の詳細は不明ですが、昭和20年における大町からの召集者だけで433人、満州事変以後の大町・平・常盤・社の戦没者合計は515人とされています。



8. 上原良司碑

上原良司は池田町鶴山の生まれで「きけわだつみのこえ」(岩波文庫)の冒頭に掲げられている遺書・所感を書き残し、特攻で中絶の空に散った青年です。祖国・故郷・家族のためと信じて、自由で平和な時代の到来を願って七くなった多くの戦没者の思いを代弁するものとして、彼の所感を語り継ぐと、あざみの池田クラフトパークの一角に上原良司の碑が建てられています。



～自由の勝利は明白なことだと思います。明日は自由主義者が一人この世界から去って行きます。唯願わくば、愛する日本を偉大ならしめんことを国民の方々に願うのみです。～碑に刻まれた所感の一部

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、2020年8月20日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。